

二〇〇二年度

立命館大学文学部夜間主コース卒業レポート題目

日本文学コース

能 道成寺 の演出について	福島 陽子	建武政権と足利尊氏	新田 唯史
吉野花 矢倉にみる五段目の価値	伯耆 智哉	所領政策から考える南北朝の動乱	
赤穂浪士の討ち入りを赤穂の人々はどう捉え伝え てきたか	上荷 彰子	国風文化の成立について	杉浦 健一
坐摩神社の社地の移転とその背景	清原ゆかり	奥州三十八年戦争から見る蝦夷討伐	本多 真満
阿波の水神信仰	西原 望	中世における庶民女性の生活の実態	長野 健人
名古屋市東区・六所神社について	宮嶋 真理	「家」における夫婦の関係	
神社建立に至る信仰の一考察	宮本 逸平	平安時代前期の都市民の生活	平井 勇造
為朝の人物像		地理学科 地域・景観・環境コース	
朝敵としての為朝からみる為朝の英雄像		宗教景観要素と古代祭祀の空間構造	中野 茂樹
平安陰陽道についての考察	森脇 真琴	日神信仰を通じて	
藤井寺の伝承	國下 暢也	草津市における眼科医療利用者分布のGISデー タ構築	松山みどり

日本史コース

倭寇の発生と活動	瀬戸口 豊
庚寅年以降の倭寇の構成について	
都城	荻野 泰弘
日本と中国の比較	
古代丹後地域について	田中真知子